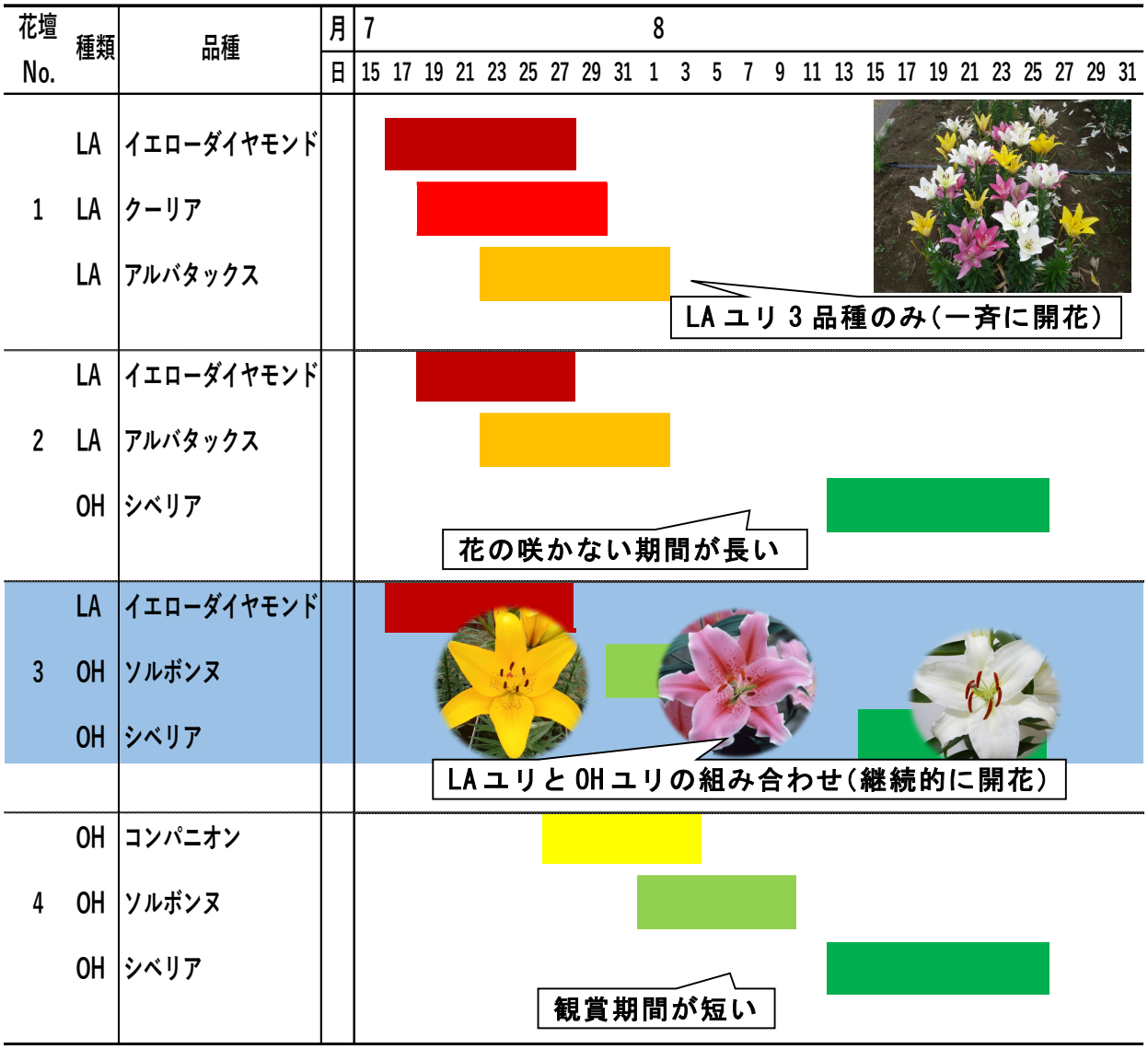
夏の花壇を長く彩るユリの植栽方法

埼玉県はユリ切り花の栽培が盛んで、全国でトップクラスの生産量を誇ります。ユリは豪華な花形と豊富な花色を持ち、冷蔵した球根を用いることで一年中咲かせることができます。一方、夏の花壇は華やかに彩る品目が少なく、花の寿命も短くなります。そこで、このユリを用いて花壇を飾るために、気温が高く日射が強くてもきれいに咲く品種を選定し、継続して花を楽しめる組み合わせを検討しました。その結果、LA[1)]系のイエローダイヤモンドと OH[2)]系のソルボンヌ・シベリアの組み合わせ（花壇 No.3）が、同時に植え付けても 7 月中旬～8 月の長期に渡り景観維持が可能であることがわかりました。

各ユリ品種の開花時期と長期景観維持に適した組み合わせ



注）6 月 7 日に、球根を花壇に同時定植

[1)]LA：テッポウユリとスカシユリの交雑種群

[2)]OH：ヤマユリやカノコユリなど、極東に自生する種をもとに育成した品種群

▲ 開花開始　▲開花終了

（施設園芸先端技術担当　TEL 048-536-3091）